

第30回北勢線の魅力を探る 「藤原岳を望んで巡る里の春」

開催日：2018年4月9日（日）

参加者：67人（内子ども1人）

協力：石川自治会、下野尻自治会、瀬木自治会、妙宗寺、ふるさといなべ市の語り部

阿下喜駅から～石神社～妙宗寺～春日神社

集合場所の阿下喜駅では小雨が降ったり、止んだり。員弁川にかかる前川橋に到着。江戸時代の川の流れ（員弁川、鎌田川の川替え）と現在の様子、井水の仕組みなど現場を見ながら、簡単な説明を聞いた。次の石神社では伊藤一昭さんと自治会長の伊藤正則さんの説明を聞いた。石神社の創立は仁和2年(886)と伝わり延喜式内社である。境内に三重県の樹



石神社



カゴノキ

木100選に指定された幹の周りは4mばかりある巨木の「鹿子(カゴ)の木」がある。樹皮が「鹿(か)の子模様」になる事から名が付けられた。又「火護(カゴ)の木」とも書き、火から護るという縁起から植えられた。奥殿の左右にあるケヤキの巨木は幹回りが4m20cmもある。

次の妙宗寺では語り部の会の樋口さんから説明を聞いた。当寺は文化8年(1811)、京都の六条で創建された。明治14年(1881)頃、この下野尻の地に移転されたと伝わる。鐘楼は明治25年(1892)の建築である。



妙宗寺



春日神社

真名川の橋を渡り、すぐ春日神社に到着。前自治会長の藤田進さんから説明を聞いた。社務所に年代別に獅子頭が並べてあり、「狐面」や「天狗面」他の面も見せてもらった。この地に毎夜光輝く霊石があり、その石を信仰して石神社と称していたが、昭和29年(1954)に春日神社と改称した。この霊石は、130年前に道路拡幅の際に移動し、所在は不明である。

昭和29年神殿造営のため村人が旧本殿の下を約3尺(90cm)掘ったところ鏡が出土した。形・文様から平安時代の末、藤原時代(850年前)に作られたと推定できる。



獅子頭

瀬木会館～猪毛利谷神社

瀬木自治会館に到着し、井後純子さん手作りの紙芝居「畑を田に」を見せてもらう。畑田井水の物語である。瀬木の庄屋の佐藤儀左衛門秀継は員弁川からの用水を成功させた。完成

して間もなくの享保 19 年(1734) 4 月 27 日に儀左衛門は享年 60 歳で逝去したので、水路を見下ろせる山中に彼の墓を村民たちが建てた。紙芝居を見てから各自持参の弁当を食べた後に、畑田井水をたどりながら、小山を上って儀左衛門の墓(釈教清)に手を合わせた。



猪毛利谷神社では佐藤俊介さんに川との闘いの歩みを中心に解説していただいた。鎌田川はここから 500m 程下流で員弁川と合流している。慶安 3 年(1650) 9 月 3 日から 9 日までの長雨によって洪水が発生し、瀬木村は以後も度々水害に見舞われた。そのため、貞享 2 年(1685)に鎌田川、元禄年間(1688~1704)に員弁川の川替(流路変更)工事が行われ、現在の大きな弧を描く流れとなった。猪毛利谷神社の創祀は不明だが、明治 3 年 2 月の瀬木村庄屋佐藤甚蔵の記録によれば、ある時、猪名部神社が川に流されて「いもり谷」に流れ着いた。鎌田橋脇の参道入口では昭和 12 年(1937) 6 月 30 日に建立された大きな社号碑(佐藤佐五郎寄進、石匠藤谷政之助)がある。書は津の書家市川進(号塔南)が 84 歳の時の作品です。境内にある幟台の南側には昭和 53 年(1978) 10 月に設置された二等水準点(10192 号)がある。



桐林館(とうりんかん)

猪毛利谷神社から県道 5 号線を阿下喜に向かって約 1.5km 歩き、最終目的地の桐林館に到着した。桐林館は昭和 12 年 3 月に阿下喜尋常高等小学校校舎として建設された。建築当初は南北に 3 列の校舎が並んでいて、東と西と中央を南北に渡り廊下でつながっていた。その後、昭和 56 年(1981)に鳥坂野に新校舎が完成し、阿下喜小学校が移転するに伴い従来の校舎が取り壊される



予定だったが、建物保存の要望を受け、1 棟を規模縮小し同校地北側に移築保存され、昭和 58 年 2 月、文化資料保存施設「桐林館」として開館した。開館当初はこの地方で出土した土器類、戦前の教科書や生物・鉱物の標本、生活道具等を展示していた。平成 26 年、桐林館はいなべ市で初めての国登録有形文化財(建築物)となった。

この阿下喜小学校で教鞭をとられていた井後純子さんの思い出話を聞いた。教壇の横に置かれてあった小学校の校章は五三桐の紋をモチーフに中央部に阿下喜のイニシャル「A」があしらわれ、とてもモダンなデザインに感心した。



桐林館の名前の由来について、校舎建設当初の阿下喜小学校校庭にはたくさんの桐の木が植えられていて、「桐林館」の名はその当時の様子から命名されたという。職員室はアート&カフェで活用し、「桐林館阿下喜美術室」として平成 29 年 7 月 7 日より作品の展示と、カフェを営業している。美味しい珈琲といなべのスイーツが評判となっている。